



20代をむかえたら必ず受診したい

子宮頸がん 検診

子宮頸がんは30歳から40歳代が好発年齢ですが最近では**20歳代の女性にも増加**しているという報告もあります。初期にはあまり自覚症状がないので検診等による早期発見は重要です。年1回の検診をお勧めします。

子宮頸がんの罹患率と死亡率(日本人女性)



CHECK!!

当センターでは産婦人科医師による問診と細胞診検査と経膈超音波(経膈エコー)検査をセットで行います。

当日の流れ



問診

月経不順や閉経後の出血など、気になる症状がある場合は、問診の際に医師にご相談下さい。

細胞診検査

子宮の入り口である子宮頸部をこすって細胞を採取します。子宮頸がんやその前癌状態の子宮頸部異形成がわかります。

経膈超音波(経膈エコー)検査

膈内に細長い器具を入れて子宮や卵巣の形状を見ます。

子宮筋腫・卵巣嚢腫・子宮内膜症・子宮内膜ポリープなどの疾患がわかります。



Q&A

Q 検査は痛いですか?

痛みの個人差はあると思いますが緊張して力が入ると診察機器の挿入が難しくなる時があります。出来るだけ力を抜いて診察を受けられることをお勧めします。

Q 生理中ですが、検査は受けられますか?

検査は可能ですが正確な判定が出ないこともあります。予約変更をお勧めします。

Q 不妊治療中ですが検診は受診できますか。

不妊治療中であっても検診時に妊娠していないことが明らかである場合、ご受診いただくことは可能です。

費用

*各保険組合により金額が異なる場合がございます。お問い合わせください。

- 【税込】6,600円**
(人間ドック・健診等のオプションの場合)
- 【税込】9,350円**
(子宮頸がん検診のみの単独検診の場合)



社会福祉法人 大阪府済生会 吹田医療福祉センター

健都健康管理センター

電話 06-6192-7275(代表) 06-6192-7276(予約専用)